220



園や学校で流行する病気の一つに「りんご病」があります。

ほっぺがりんごのように真っ赤になる のですが、普通どおりに生活したり、登 園・登校してかまわない感染症です。

もともと血液の病気をもっている方 や、妊婦さんがかかると困ったことがお きるので、注意が必要です。







りんご病と流産

りんご病をおこすウイルスは、赤血球を作る細胞(骨髄の中にある)をこわす働きがあります。普通の方にとっては、多少赤血球ができなくてもたっぷりと余裕があるので、心配な症状は何もおきません。

しかし、もともと赤血球の病気(遺伝性球状赤血球症といって、赤血球の形の異常がある病気。日本人ではまれ。)があると、急激に重症な貧血がおきることがあります。

また、妊娠中の方がかかると、胎児 の赤血球が壊され、流産の原因になる ことも知られています。流行している 時には、妊婦さんは注意が必要です。



りんご病 (伝染性紅斑)

ほっぺがりんごのように赤くなるので、りんご病とよばれています。太ももや腕には赤い斑点やまだら模様ができます。頬がほてったり少しかゆくなることもあります。熱は出ません。ただしおとながかかると、微熱が出たり腰や膝が痛むことがあります。



治療

自然に治りますが、かゆみが強いときはかゆみ 止めを処方します。





こんなときはもう一度診察を

- ①かゆみが強くなったとき
- ②高い熱が出たとき
- ③元気がなくなってきたとき



保育所·学校

頬が赤くなったときは、すでにうつる 時期をすぎているので、行ってもかま いません.

家庭で気をつけること

●食べ物:いつものとおりでかまいません.

②入 浴:かまいません、ただし熱い風呂に長く入ると赤みが強くなって長びくことがあるので、短時間できり上げましょう.

⑤運 動:運動で体が熱くなったり日光に長くあたると、長湯と同じように 赤みが長びきます。 りんご病は、ヒト・パルボウイルスB19という 名前のウイルスによる感染症です。日本人では、たいがいの方が小児期に免疫を獲得していて、大人になってからかかる人は少ないようです。

大人の方がかかると、熱や関節痛などの症状が強いのですが、特に妊婦さんは流産の原因になることがあり、注意が必要です。(一口メモ参照)